



# Death of Koko the Gorilla

## 手話で会話できるゴリラのココ、永眠



ゴリラのココと、ココに手話を教えたパターソン博士



次の点に注意してニュースを聴いてみよう!

- ココが理解できた英単語の数はどのくらいとされていますか。
- ナショナル・ジオグラフィック誌の表紙を飾ったココの写真はどのようなものでしたか。
- ココは何年前に、どこで生まれましたか。



### 精聴トレーニング

Practice 1 英文を見ずに、ナチュラルスピード (7) で聴いてみる。

Practice 2 英文を見ながら音声を聴き、聞き取れなかった箇所の音と文字を確認する。

必要ならゆっくりスピード (ポーズ入り (8) / ポーズなし (9)) も活用し、聞き取り練習をする。

Practice 3 英文・語注・日本語訳を参考に、内容を理解する。その後、音声を繰り返し聴いて耳を慣らす。さらに、英語の音声をまねながら、音読する。

#### Optional

1. ナチュラルスピードまたはゆっくりスピードでシャドーイング。
2. ナチュラルスピードまたはゆっくりスピードでディクテーション。
3. 区切り訳の日本語を英語に変換する (反訳練習)。



### キーワード

sign language 手話  
[saɪn]

skeptic 懐疑派、疑う人  
[skɛptɪk]

celebrity 有名人、著名人  
[səˈlebrəti]

emotional capacity 情緒的能力  
[ɪməʊʃənəl]

cognitive ability 認知能力  
[kɑɡnətɪv]

**7** ナチュラルスピード イギリス英語

**9** ゆっくりスピード (ポーズなし) アメリカ英語

## Death of Koko the Gorilla

Koko the **gorilla**, famous for using sign language, has died. There were skeptics, but her trainers say Koko understood 2,000 words in English. She was born in and trained at a zoo in San Francisco, eventually becoming a celebrity, with an unforgettable photo on the cover of *National Geographic*, cuddling her pet kitten. The **Gorilla** Foundation says Koko taught the world about the emotional capacity and cognitive abilities of **gorillas**. She died in her sleep and was 46 years old.   »80 words (June 22, 2018)

### 手話で会話できるゴリラのココ、永眠

手話ができることで有名なゴリラのココが死んだ。(ココが手話ができることに) 懐疑的な人たちもいたが、トレーナーによると、ココは2000語もの英単語を理解していたという。サンフランシスコの動物園で生まれ訓練されたココは、ナショナル・ジオグラフィック誌の表紙を飾った、忘れがたいあのペットの子猫を抱いた写真もあって、一躍有名になった。ゴリラ財団は、ココは世界にゴリラの情緒的能力や認知能力について教えてくれたと述べている。ココは眠っている間に息を引き取った。46歳だった。 (訳 石黒円理)

#### リスニングのポイント

異なった語が、意外にも同じ発音になることがある。

1、4行目の **gorilla/Gorilla** » [グリラ]

6行目の **gorillas** » [グリラズ]

異なった語句が、意外にも同じ発音になることがあります。日本語では、**gorilla**は「ゴリラ」、**guerrilla**は「ゲリラ」と言いますが、英語の発音では、どちらも [グリラ] に近く聞こえ、同じ発音になります。ほかにも、日本語では、**career**は「キャリア」、**Korea**は「コリア」と言いますが、イギリス英語の発音では、どちらも [クリア] に近く聞こえ、同じ発音になるのが普通です。**accept**と**except**は、最初の母音のつづり字がaとeで異なるため、発音も異なると思われがちですが、アメリカ英語では、どちらも [エクセプト] に近く聞こえ、同じ発音になることも少なくありません。また、アメリカ英語の**god**とイギリス英語の**guard**、アメリカ英語の**lodge**とイギリス英語の**large**、アメリカ英語の**possible**とイギリス英語の**passable**が、それぞれ [ガード]、[ラーヂ]、[パーサボー] のように聞こえ、同じ発音になりますので、国や地域による発音の違いについても知っておく必要があります。

解説 南條健助 (桃山学院大学国際教養学部准教授)